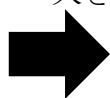


# 「福島県企業局経営戦略(工業用水道事業)」の概要

## 第1章 経営戦略策定の趣旨

### ●経営戦略の策定にあたって

- 工業用水道事業の役割
  - ・産業の血液、企業にとっての生命線
  - ・企業の生産活動を支え、雇用や地域経済の発展に大きく寄与
- 工業用水道事業における課題
  - ・大きな設備投資による経営圧迫に対して独立採算の確保が求められる



### 工業用水道事業の将来につなげるための「経営戦略」策定

### ●工業用水道事業の現状と課題

- 工業用水の需要の伸び悩み
- 災害対応、老朽施設の維持管理、運営体制の強化、施設の更新、強靱化

### ●経営戦略策定の基本的な考え方（策定方針）

- (1) 安定供給のための運営体制の強化、老朽化施設の更新及び施設の強靱化と財源確保
- (2) 工業用水道事業ごとの将来を見据え、個別原価主義を踏まえた料金設定と需要開拓の推進
- (3) 効率化を踏まえた経営の健全性確保

### ●期間

令和3年度から令和12年度までの10年間

### ●庁内関係課との連携

経営戦略の策定実施、課題の解決に対して、庁内関係各課と連携し取り組む

## 第2章 経営戦略の推進体制

- ・PDCAのサイクルの導入
- ・内部評価の実施
- ・進捗状況等の公表

## 第3章 効率化・経営健全化の取組

- ・組織体制の見直し、人材の育成、定員の管理、給与の見直し
- ・民間の資金・ノウハウの活用
- ・効率的な資金管理、調達
- ・情報公開

## 第4章 工業用水道事業の概要

### ●事業概要

いわき市に磐城、勿来、小名浜、好間工業用水道、相馬市・新地町に相馬工業用水道があり、令和3年4月1日現在で74事業所に給水している。

令和3年4月1日現在

工水事業名	磐城	勿来			小名浜	好間	相馬	合計
		勿来	南台	勿来計				
① 計画給水能力(m <sup>3</sup> /日)	233,000	248,100	41,900	290,000	625,000	10,000	55,600	1,213,600
② 現在給水能力(m <sup>3</sup> /日)	233,000	248,100	41,900	290,000	625,000	10,000	34,700	1,192,700
③ 契約事業所数	46	3	2	5	4	9	10	74
④ 契約水量(m <sup>3</sup> /日)	182,046	182,200	39,900	222,100	447,800	9,880	27,400	889,226
⑤ 契約率(%) ④/②	78.1	73.4	95.2	76.6	71.6	98.8	79.0	74.6
⑥ 給水開始年月日	S37.10.1	S39.4.1	H9.4.1	—	S45.1.10	S61.9.1	H4.4.1	—
⑦ 水源	高柴ダム、四時ダム 浄水供給	鯨川表流水 原水供給			海水 原水供給	小玉ダム 浄水供給	真野ダム 浄水供給	—

### ●経営の現状

#### ○契約水量

令和3年4月現在の契約水量は、883,026 m<sup>3</sup>/日であり、平成28年度よりも増加している。

(単位: m<sup>3</sup>/日)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
磐城	174,900	174,900	175,500	175,500	182,946	182,046
勿来	227,050	228,350	228,350	227,200	227,200	222,100
小名浜	447,800	447,800	447,800	447,800	447,800	447,800
好間	2,980	2,980	2,980	3,080	3,680	3,680
相馬	19,200	27,300	27,900	27,900	27,400	27,400
計	871,930	881,330	882,530	881,480	889,026	883,026

※H28～R2は年度末の契約水量、R3は4月1日現在の契約水量

#### ○決算の状況

平成28年度から令和2年度までの決算状況は、令和元年東日本台風等の影響のあった令和元年度を除き、純利益を計上している。

(単位: 百万円)

	H28	H29	H30	R1	R2
事業収益	2,557	2,669	2,616	2,646	2,797
事業費用	2,427	2,520	2,613	2,711	2,636
当年度純利益又は純損失	130	149	3	△65	161

#### ○料金の推移

経済産業省が定める「工業用水道料金算定要領」に基づき、平成28年度改定以降、5年ごとに料金単価の見直しを行っている。

(単位: 円/m<sup>3</sup>)

年度	磐城	勿来		小名浜	好間	相馬
		(本勿来)	(南台)			
H9～H11	13.60	4.10	4.40	2.70	50.00	50.00
H12～H14	↓	↓	↓	↓	↓	↓
H15～H17	↓	↓	↓	↓	↓	↓
H18～H20	13.50	↓	↓	2.40	↓	↓
H21～H24	↓	↓	↓	↓	↓	↓
H25～H27	↓	↓	5.20	H25: 2.60	↓	↓
				H26: 2.70		
				H27: 2.80		
H28～R2	↓	4.80	6.90	↓	↓	48.00
R3～R7	13.20	↓	8.70	2.90	↓	45.20

## ○施設整備の状況

持続可能な工業用水道の実現に向けて、中長期計画を5年ごとに策定し、施設整備に取り組んでいる。

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	R1	R2
磐城	513	616	474	1,082	1,140
勿来	410	213	80	42	52
小名浜	373	5	591	129	26
好間	434	218	173	1	67
相馬	869	1,295	588	9	230
計	2,599	2,347	1,906	1,263	1,515

## 第5章 投資・財政計画

### ●工業用水道事業全体

#### ○投資に関する事項

中長期計画で定める5つの基本方針に基づき施設設備整備を進めていく。

- I 適切な維持管理
- II 老朽施設の計画的更新
- III 施設の耐震化
- IV 管路の複線化
- V 施設の強靱化

#### ・管路の更新化率

	~R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
全体	2.7%	2.7%	2.7%	3.3%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	8.0%	8.0%	8.0%
磐城工水	5.7%	5.7%	5.7%	7.2%	12.7%	12.7%	12.7%	12.7%	17.3%	17.3%	17.3%

#### ・土木構造物の耐震化率

	~R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
土木構造物	50.0%	55.6%	72.2%	72.2%	83.3%	88.9%	88.9%	94.4%	94.4%	94.4%	94.4%

#### ・建設改良費の見込み

(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
磐城	1,167	997	925	1,259	1,465	2,000	2,381	2,082	2,112	2,412
勿来	135	1,379	1,109	1,325	510	541	252	189	342	695
小名浜	9	8	18	88	108	41	219	315	2,285	2,366
好間	183	10	134	147	151	156	34	49	113	4
相馬	409	36	44	69	68	41	51	36	49	128
計	1,903	2,430	2,230	2,888	2,302	2,779	2,937	2,671	4,901	5,605

#### ○料金収入に関する事項

- ・料金算定要領に基づいた原則5年ごとの料金単価見直し
- ・経営基盤の安定に向け、関係機関と連携した需要開拓の推進

#### ○その他

- ・適正規模の企業債借入
- ・一般会計繰入金の縮減
- ・好間工業用水道のいわき市への譲渡

## ○収支計画

(単位:百万円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
事業収益	2,717	2,705	2,695	2,683	2,712	3,130	3,164	3,122	3,131	3,136
事業費用	2,671	2,646	2,683	2,682	2,630	2,918	3,407	2,927	3,128	3,192
当年度純利益又は純損失	46	59	12	1	82	212	△ 243	195	3	△ 56

## ○経営指標

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
営業収支比率(%)	91.8	94.9	94.0	93.8	96.1	103.1	88.2	103.4	96.7	95.2
経常収支比率(%)	101.8	101.3	99.5	99.1	102.2	106.9	91.6	106.2	99.3	97.3
総収支比率(%)	101.7	102.2	100.4	100.0	103.1	107.7	92.3	107.1	100.1	98.1
契約率(%)	74.3	74.6	74.6	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5	74.5
料金回収率(%)	95.4	98.0	96.8	96.2	98.3	105.1	89.2	104.3	97.3	95.2
営業収益対支払利息比率(%)	3.6	3.6	3.8	4.1	4.5	4.0	4.3	4.6	4.9	5.5
自己資本構成比率(%)	65.8	62.9	60.5	57.5	55.6	53.5	51.2	50.4	47.2	43.3
流動比率(%)	253.5	383.6	391.2	413.9	421.7	420.5	358.0	253.2	254.3	328.9
ROE(%)	0.2	0.3	0.1	0.0	0.4	1.1	△ 1.2	1.0	0.0	△ 0.3

## ○課題と今後の対応

次期料金算定期間において料金単価の上昇が見込まれるが、料金単価の上昇率を抑えるため、更なる経費縮減、新規需要開拓による料金収入確保など収益の改善に努め、今後の経営状況を踏まえ、検証を進めていく。

また、施設の長寿命化、規模の適正化、建設改良工事平準化を図るため、内部留保資金活用や国庫補助事業活用など財源確保の検討も併せて進めていく。

## ●好間工業用水道を除く工業用水道事業全体

好間工業用水道を含めた工業用水道事業全体と差異はないが、好間工業用水道を除き、一般会計繰入金を見込んでいない。

## ●工業用水道事業別の課題と今後の対応

### ○磐城工業用水道

- ・導・配水管の複線化、施設の耐震化等による建設改良費の増大
- ・次期料金改定における単価上昇率を抑えるための取り組み

### ○勿来工業用水道

- ・沼部堰、配水管、ポンプ設備更新工事による建設改良費の増大
- ・次期料金改定における単価上昇率を抑えるための取り組み
- ・本勿来と南台の費用分担、料金単価の設定の検討

### ○小名浜工業用水道

- ・配水管、ポンプ設備更新工事による建設改良費の増大
- ・次期料金改定における単価上昇率を抑えるための取り組み

### ○好間工業用水道

- ・一般会計繰入金の縮減
- ・いわき市への早期譲渡に向けた協議

### ○相馬工業用水道

- ・新規需要の更なる開拓
- ・給水需要を踏まえ、中断しているⅡ期工事の事業再開検討